



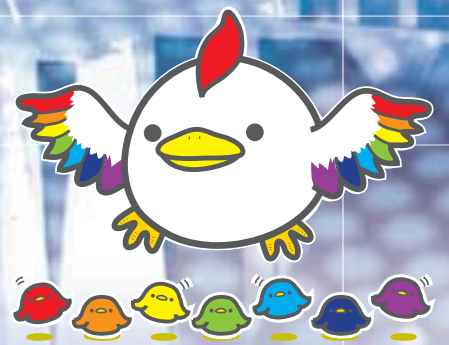
創立1961年・高実績と信頼の
ライセンススクール

LICENSE GUIDE

行政書士

ホームページ

<http://www.thg.co.jp/>



東京法経学院



申請書類の作成・提出手続の代理の エキスパートになろう!

行政書士の
資格を取得して

行政書士の主な業務は「官公署への提出書類や権利・義務・事実証明に関する書類の作成・提出手続の代理」で、取り扱う書類の数はなんと約9,000種以上もあります。
また、官公署に提出する書類の相談役としても国民と行政のパイプ役を果たす等業務は多岐に渡ります。具体的な業務としては下記のとおりです。

行政書士の仕事

会社創立業務

- 法人設立のための書類作成
- 風俗営業許可申請（パチンコ店、ゲームセンター、パブ、クラブなど）
- 旅館営業許可申請
- 産業（または一般）廃棄物処理業許可申請 など

建設関係業務

- 建設業許可申請
- 宅地建物取引業免許申請
- 建設業経営事項審査申請
- 入札参加資格審査申請 など

運送関係業務

- 車庫証明の申請
- 自動車登録申請
- 運送事業免許
- 自賠責保険請求
- 運転免許証申請

土地関係業務

- 農地転用許可申請
- 土地の開発行為許可申請
- 道路占有許可申請 など

国籍関係業務

- 帰化申請
- 外国人の在留資格許可申請
- 永住・在留更新許可申請
- 外国人の招へい など

その他の業務

- 国庫・金融機関融資申込手続
- 戸籍関係届出・遺産分割協議書
- (会計帳簿の)記帳処理・帳簿作成
- 警察署に提出する告訴状・告発状の作成
- 契約書・示談書・内容証明書作成 など

官公署とは

各省庁・各都道府県庁・各市・区役所・町村役場・警察署・消防局(署)・保健所・都道府県税事務所・陸運事務所・社会保険事務所・労働基準監督署・公共職業安定所・在外公館 など



こんな方におすすめ!!

行政書士資格は

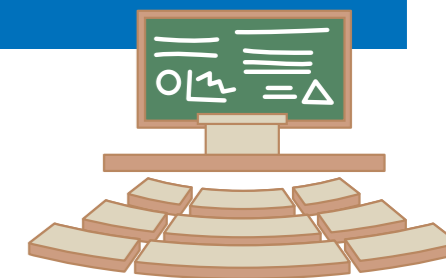
転職を考えている人・独立開業を目指す人



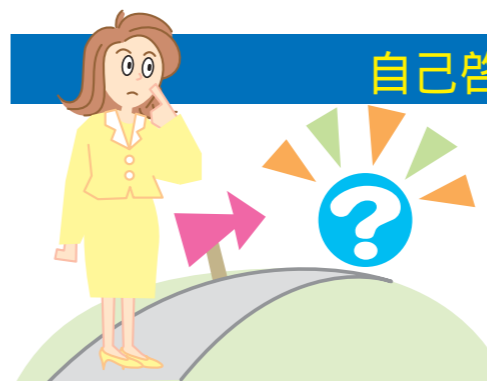
ほとんどの企業が関係官庁や機関への申請書類や届出書 さらに契約書などを毎月のように作成しなければなりません。こういった仕事を担当する総務・法務部門では豊富な知識と優れた能力を持った「行政書士」資格保持者を企業内スペシャリストとして高く評価しています。したがって 転職を考えている方にとってはまず「行政書士」資格を取得することが 転職・再就職に有利なのではないでしょうか。
また 独立開業し 法人・個人と行政とのかわり合いの中で 依頼者と行政との重要なパイプ役を果たすことは 職業として確立している「行政書士」ならではのものです。

時間を有効に使える大学生

資格取得に適している環境が整っているのは「大学生」です。学習を行う時間的な余裕や大学の講義による相乗効果など 受験勉強には大変有利です。大学生の中でも 高校卒業後間もない方(大学1・2年 短大生)には 一般知識はなじみ深いものだと思います。また この資格の勉強は 社会保険労務士試験や公務員試験の足掛かりとしても最適です。
さらに 行政書士試験資格を取得することにより 書類作成のスペシャリストとして 企業の総務や法務部門などの門戸が開かれるなど 就職活動の武器としても 有効になります。



自己啓発の一環として資格取得を目指す方



最近 自己啓発の一環として資格に挑戦される方が増えていきます。そこで 法律関係の国家資格の中で比較的取得しやすいといわれる行政書士資格がお勧めです。法律科目の学習があることで一見敬遠されがちですが あくまでも基本的な法律からの出題となっているため 初めて勉強される方でも安心して勉強をすることができます。
また この資格の勉強を重ねることで 生活に密着した法律の知識を身につけることもできます。

次の資格へのワンステップとして

「行政書士」試験は 難解で専門的な法律知識が要求されるものではありません。したがって 法律をこれから学習し その受験体験をいかして さらに難しい資格や関連資格へチャレンジしようと考えている方には まず「行政書士」をお勧めします。





受験合格ガイドンス

行政書士資格の

① 受験要項

受験資格	年齢・学歴・国籍等に関係なく、誰でも受験することができます。
願書配付・願書受付	8月上旬～9月上旬
試験日程・時間	11月の第2日曜日 13:00～16:00
合格ライン	～の要件を全て満たした方が合格となります。 行政書士の業務に関し必要な法令等科目の得点が、満点の50パーセント以上である者 行政書士の業務に関連する一般知識等科目の得点が、満点の40パーセント以上である者 試験全体の得点が、満点の60パーセント以上である者
合格発表	試験翌年の1月下旬
受験地	全国47都道府県にて実施します。
受験料	7,000円（平成20年度本試験の場合）

② 実施科目

科目	法律内容
行政書士の業務に関し必要な法令等（46問）	憲法 基本的人権や日本の統治機構について定めている日本の最高法規です。全ての法律の根源となっています。
	行政法 行政の活動を対象とした法です。単独で行政法という名の法律はなく、行政に関連した法律の総称としてこのように呼びます。
	民法 市民間の法律関係を規律する私法で、売買や相続など生活と密接に関係している法律です。
	会社法 2006年5月よりスタートした新しい法律で、会社の起業などについて規定している法律です。
	商法 商業取引や企業取引などに限定して適用される法律です。
行政書士の業務に関連する一般知識等（14問）	基礎法学 「法とは何か？」や法律の形式、裁判制度の基礎などが問われます。
	政治・経済社会 時事問題などを中心に出題されます。
	情報通信 個人情報保護 IT関係の用語、法制度、個人情報保護に関する法制度などが問われます。
	文章理解 国語の中でもいわゆる長文問題が出題されます。

行政書士試験についての
試験専用照会ダイヤル

ホームページ

総務大臣指定試験機関

財団法人行政書士試験研究センター

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館1階

03-5251-5600

<http://gyosei-shiken.or.jp>



疑問にお答えします。

行政書士資格の

Q1

合格は何年間有効ですか？

A1

「合格」すると「行政書士合格証」が交付され、「行政書士となる資格を有する者」となります。これは、期間の限定なく、一生涯、その資格を持つことができるものです。

Q2

行政書士試験に合格したら必ず登録しなければいけませんか？

A2

必ず登録する必要はありません。登録しなければ「行政書士となる資格を有する者」であるのみです。登録は、自分のよい時期にいつでもすることができ、登録により「行政書士」となることができます。

Q3

登録するのに実務経験は要りますか？

A3

必要ありません。行政書士は、いろいろな書類の作成を行います。官公署や仕事の内容ごとに全て異なりますので、事案を通して実務を身につけ、また登録後には、研修会も設けられているようです。

Q4

どのくらい勉強すれば受かりますか？

A4

行政書士試験は、法令科目と一般知識等科目から出題され、内容も多岐にわたります。ひととおりの学習に、ある程度の時間は必要とします。時間だけでは一概にいうことはできませんが、できるだけ毎日、時間を決めて、一定期間継続した学習は必要です。ただし、新しく法律の世界を知る、という点で、楽しみながら学習ができるものと思われま。

Q5

一般の企業内で行政書士は働けますか？

A5

企業内で行政書士として働くことはできません。自分で独立・開業するか、「行政書士事務所」内で働くことが可能です。

Q6

通信講座と通学講座の違いを教えてください。

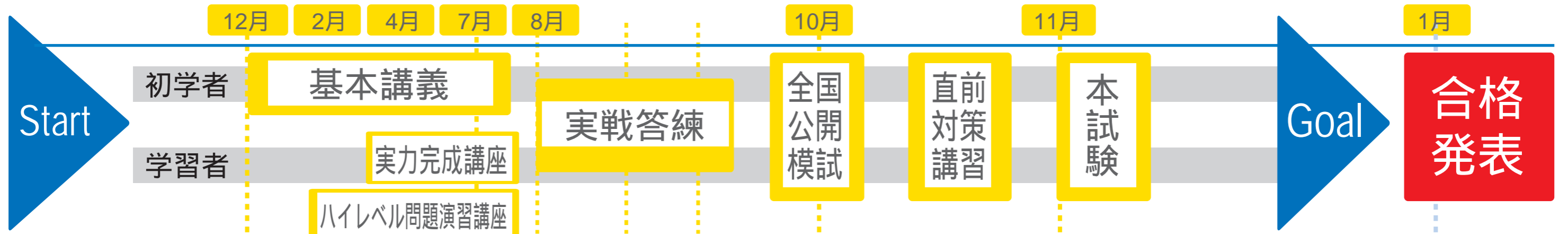
A6

通信講座とは、通学講座と同様のテキストを使用し、自宅で自分のペースで学習できるものです。テキストに、DVD等を合わせれば、その中で、重要なポイント等の指摘もあり、時間と学習の効率化が図れるでしょう。東京法経学院において、通学講座は、教室での受講生参加型の講座です。生の講義を聴いて、質問もその場でできるため、疑問点の解消も早く、また一緒に合格を志す他の受講生と切磋琢磨しながら学習を進めることができるのが魅力です。





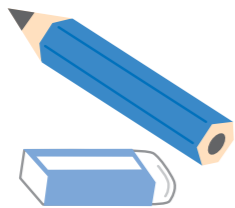
効率よい「行政書士」資格のためのカリキュラム



基本講義

通学講座 **本科** 初学者

行政書士の試験内容は広範囲で多岐に渡っています。そのため、行政書士試験の合格を目指すには、暗記ではなく、理解しながら学習を進めることが大切です。本科講義は、初学者を対象に「理解しながら効率よく学習、かつ確実に合格を！」が一番のテーマ。法令科目では、本試験で頻繁に出題される重要事項を掘り下げ、合格に必要な知識を体系的に積み上げていきます。一般知識科目は、広範囲からの出題で受講生が苦手とされていますが、本試験を細く分析した教材と、的を絞った講義で確実に知識の定着を図ります。



通信教育 **最短合格講座** 初学者

「行政書士最短合格講座」は、独学では乗り越えることが困難と思われるこのようなハードルを、通信教育で比較的、楽にクリアするために、また、初心者でもわかりやすく、かつ楽しみながら学習できるようにさまざまな工夫を凝らしたオリジナル教材を活用し、ムリ・ムダなく短時間で合格できる実力を身につけていただくことができます。

【毎月開講】DVD・iPod(音声タイプ)教材学習の3タイプ

問題演習

通学講座 通信教育 学習者

実力完成講座

重要科目別・インプット強化講座が新規開講!!

難易度の高くなった本試験に対応するには過去問の範囲だけの学習では不足しています。

本講座では過去問レベルの知識の修得はもちろんその範囲を超えるような項目についても解説しています。

合格をより確実なものとするためには苦手科目をひとつでも減らす必要があります。他の受験生の得点できる問題は落とさなだけでなくプラスの得点がとれるような体勢にしておくことで、気持ちにゆとりができます。本講座で苦手科目を得意科目へとかえていきましょう。

通学講座 通信教育 学習者

実戦答練

本講座では前半で科目別答練 後半で実戦演習を各5回行います。前半の科目別答練では、科目別に問題演習を行い主要科目の基礎固めを行っていきます。難易度の高い問題に解答するためには、基本の理解は欠くことができません。後半の実戦演習では、本試験と同様に3時間という時間制限の中でより迅速に知識を解答に結びつける訓練を行います。試験さながらの雰囲気の中で実力と気力の充実を図り、試験への万全な準備を行っていただくことができます。

通信教育生は時間がルールになりがちですが時間の管理を行うのも本試験合格のためです。決められた時間内で解答してください!!

総まとめ

会場受験 自宅受験 学習者

全国公開模試

本番で、いかに実力を発揮するためにも、本試験さながらの公開模試は是非とも体験していただきたいものです。臨場感・緊迫感の高まる会場での受験は、集中力を養うほか、本試験への絶好のリハーサルとなります。

全国レベルで自分の実力を客観的に把握でき、その後の学習において効果的に弱点が克服できるように模試を2回実施します。全国の受験生の成績の中で自己のレベルを知り、弱点をカバーする。そして、得点力をアップさせる。2回の模試を受験することで、本番の予行演習はもちろん、試験日までの限られた時間での直前期の総まとめを行うことができます。

通信教育 学習者

ハイレベル問題演習

本試験の全範囲から試験の傾向・レベル・法改正を含んだ問題を毎回30問計330問を出題します。詳しい解説書で学習し実力を養成します。多くの問題を解き、解説書・質問票等により疑問・弱点を解消して合格力をアップします。

直前対策

通学講座 通信教育 **直前対策講習** 学習者

本試験を間近に控えたこの時期は新傾向を追うのではなく基本に立ち返りこれまでの学習の総まとめを行います。

これまでの学習の総まとめとはいうものの例年本講座の内容から数問本試験に出題されており本試験に的を絞った本講座を活用して、万全の態勢で本番へ挑みましょう。

合格 ナビゲーターから
行政書士試験合格を目指す皆さんへ

講義を行ううえで心がけていること

はじめて法律の学習をする方でも興味をもて、学習をするにつれ徐々に実力と自信がつくような、参加型講義を心がけています。基礎力をしっかりと固めたうえで、さらに効率よく学習が進められるよう、その方に応じた助言をしていきます。

これから学習される方へのアドバイス

文字の情報をただ暗記するのではなく、法律・教養を含めた理解につながるように、繰り返し「読み、書き、問題を解いて確認する」ことが、合格への近道です。学習はコツコツと「不撓不屈」の精神で合格を目指してください。

川手ひで子講師 本学院行政書士講座専任講師



合格体験記

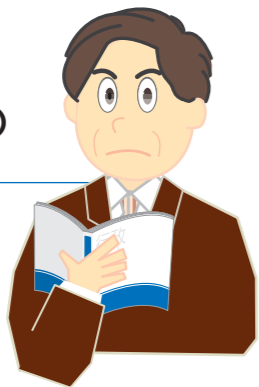
行政書士資格

「答練・演習によるスキルアップが決め手」

K.Iさん(富山県)

profile

年齢 64歳
受験回数 5回



はじめに

私は59歳のとき、40年間弱の銀行員生活を卒業しました。関連会社への就職斡旋の話もありましたが、何とか手に技術をつけ長く続けられる仕事をしたいと思い、司法書士事務所へ勤務しました。東京法経学院さんの通信教育を受けながら司法書士試験を4回(内2回は銀行員時代)受験しましたが、残念ながら合格に至りませんでした。また後半の2回は、行政書士試験もオーバーラップして受験しました。

その後、行政書士試験に的を絞って5回目ようやく合格することができました。東京法経学院さんとのつきあひもかれこれ7年ぐらいいなります。年齢とともに記憶力は確かに落ちてきますが、知識は確実に蓄積されていきますので、受験勉強を始めるのに遅すぎることにはありません。私が身をもって実証したような気がします。

学習の進め方

平成19年、平成20年について述べます。

3回の受験を終えたところで140~170点ぐらゐの実力がついておりましたが、合格ラインの180点までには、あと一歩伸びませんでした。ここでやめてはこれまでの努力が無駄になると思い、平成19年は東京法経学院さんの「行政書士本試験対策答練実践講座」を学習のメインに据えて取り組みました。

毎月の演習問題の提出で点数と順位を確認しながら、解説を徹底的に理解するように努めました。本講座の解説は、なぜ正解なのか理論付けがしっかりしており、私の実力ア

ップに大いに役立ちました。ここで自分の弱点を知り重要ポイントを押さえることができました。重要ポイントの中の最重要ポイントは、書くことによって体で覚えるようにしました。(「マイ最重要ポイントノート」を作成。)

また名古屋会場の2回の「公開模試」で、臨場感と時間配分を実践体得することができました。ようやく170~180点位の点数をとれるようになり、平成19年度の本番に臨みました。結果は惜しくも不合格でした。総合計では200点以上取れたのですが一般知識の合格最低ラインが6問のところ5問しか正解できず、1問のことで足切りにあい涙をのみました。

平成20年も引き続き「行政書士本試験対策答練実践講座」を学習のメインに据えて取り組みました。一般知識は知識を増やすことに加え、正解を導き出す感性(技術)を磨くことが大切と感じました。

市販の受験問題集(3回分答練付)も利用して併用学習しました。このときも苦手分野の「一般知識」には力を注ぎました。結果として平成20年度は一般知識で8問正解でき、合格することができました。

2年間を通して力を入れた学習法は答練・演習等の量をこなし、知識の蓄積アップと正解を導き出す感性およびスキルアップを図ったことです。いくら知識があっても時間内にその力を発揮できなければ合格できません。

最後に

気力・知識・スキル。この3つがうまくバランスが取れたときに合格が見えてきます。

どれか1つが欠けても合格は難しいと思います。年齢を重ねるほどスキル(特に時間配分)が重要と思います。正解を導き出す感性、誤らせるための言い回し等の発見等、問題作者の意図は、答練を数多くこなすことによって醸成されてきます。

合格後のイメージングも大切です。意味もなく気力(マインド)を持ち続けることは難しいと思います。自分がこの資格を生かしバリバリ仕事をしている姿を思い浮かべながらマインドを高めるのがよいと思います。人間、苦しいだけの努力は長続きしません。私の場合は、学習したことが明日の仕事に役立ってくれたことが多々あり、興味を持って楽しくやれたことがよかったです。

十人十色の学習法があると思いますが、中高年読者のご健闘の参考の一助になれば幸いです。

この合格体験記は、東京法経学院発行の月刊誌「不動産法律セミナー」に掲載されたものの抜粋です。

「本番での解答力と妻子への思い」

T.Eさん(静岡県)

profile

受験時の状況 会社員
受験回数 2回



試験制度変更で学習しやすく

2006年度試験は「新試験制度」へ変わる第1回目で、試験前から各方面で様々な憶測と情報が飛び交っていました。

大きな変更点は、「法令科目の変更(憲法・行政法・民法・商法)」、「一般知識の変更(政治経済・読解・情報通信・個人情報保護)」、「より法的思考力を問う問題」、「40字程度の記述」の4点でした。

結果からいえば、法令科目が絞られたことは、私にとって非常に学習がやりやすかったといえます。

「より法的思考力を問う問題」、「40字記述」については、従来どおり基本的な条文知識や判例知識のしっかりとした基礎がなければ始まらないと思っていたので、特に気にしませんでした。実際に本試験では、択一、記述ともに、基本的な条文知識と判例知識で十分に対応できたと思います。

本番に強くなるには

1回目の受験では、模試などでは、6割~7割の得点がコンスタントに取れていましたが、それをいいことに、直前期は間違えた問題のみの復習など、単純な学習を1時間ほどしか行わず、本番では5割の得点しか取れませんでした。

その原因はテキストや問題集で見たことのない問題に対して、動揺してしまったことです。また、比較的簡単といわれている、憲法や一般教養に対する認識の甘さと油断が大いに出たものでした。

そこで、本番に強くなるにはどうすればよいか考えた結果、どんな難易度でも6割とることのできる真の実力をつけるには、「たくさん問題を解く」という結論に達しました。

どのような問題にでも動揺せずに対応できることと、「だれでもできる問題、得点しなければいけない問題」、「5割以上の率で得点できる問題」、「できなくても仕方のない問題」とを見分けて解く力は、とにかく問題の量をこなして「問題自体」に慣れる事でした。

先生の言葉が指針に

メインの教材として選んだのは、東京法経学院の「ペースメーカー本試験対策答練」でした。

実際に受講してみると、講義CDを反復して聴くことによって解答力はもちろん、自分の苦手箇所が認識できました。

特に、「だれでもできる問題、得点しなければいけない問題」、「5割以上の率で得点できる問題」、「できなくても仕方のない問題」といった明確な指摘があるので、必

然的に、問題を分析判断する力も養え、時間をかけて勉強する問題と、そうでない問題とを分けて効率的に学習できたと思います。

また、時折出てくる担当講師の永谷先生の心構えとしての言葉が、私の試験に対する認識の甘さを糾してくれていたような気がします。「あとで復習するからと言ってきれいにファイリングしても、後で絶対やりませんから今復習しましょう。」とか、「本番では緊張して80%ぐらゐの力しか出ませんから、たくさん勉強しようという言葉は嘘です。国家資格は、本番で100%の力を出さなければ、いつまで経っても合格しません。」という言葉は、私の学習に対する姿勢の指針にもなりました。

また、この講座以外にも市販の過去問題集、各学校・出版社の予想問題集、直前模試を各2~3冊こなしました。反復しないで1問1問、問題を解き、その場で復習という形で、とにかくあらゆる問題を数多くこなしました。

本試験では、すべて見たことのない問題や期待を裏切る問題が出てきます。見たことのない問題を解く力は、たくさん問題を解くことにより生まれると思います。

直前期と記述対策

新試験制度での40字記述対策には、択一問題を丁寧に行って基本的な知識と解答力がついていれば問題はないと思っていました。しかし、実際には本試験ではどうなるか分からないので、念には念を入れて「総合的なポイント横断復習」も兼ねて「東京法経学院直前記述対策」を受講しました。

フタを開けてみれば、択一よりは難易度は高くない、基本的な問題が中心でしたが、講座で出た問題が1問、ほぼそのまま出題されてきたのは幸いでした。

直前期(2週間前)は、とにかく体と精神を休めることに集中しました。1日最低6時間、仕事で疲れたときは早めに就寝して、8時間以上睡眠をとることもありました。学習時間が全く取れなくとも、平日の夜は2時間程度で勉強を切り上げ、とにかく睡眠を優先しました。

試験開始後の秘訣

本試験では、新試験制度ということもあり、おおよそその解答する計画や難易度を計るために、試験開始後10分ほど、最初から最後まで少し時間をかけて問題を見ました。

これは、「東京法経学院ペースメーカー本試験対策答練」の永谷先生の講義のアドバイスによるものです。このやり方だと、見て取り組みやすい順序から、簡単に解けそうな問題は素早く、時間をかけるところはかけて慎重に取り組むことができます。問題をざっと見たところ、試験終了時ではなく、開始10分で「これはいける」と確信しました。試験開始後には少し時間をかけて、すべての問題に目を通すことは、あらゆる意味で必要ですので、是非お勧めします。

最後に

国家試験というものは、どれだけお金をかけて努力しても合格しなければ何も受験勉強していない一般人となんら変わりません。今までかけたお金と労力、そして、家族の応援と苦勞を無駄にしたいくないという気持ちが大切ではないかと思えます。妻子がいる受験生にはお分かりだと思いますが、受験のときは、受験者本人だけでなく、家族も大変なのです。その思いを考えれば、「合格しなければならぬ」という気持ちもより高まってくるものだと思います。

社会人の場合、時間が限られているからこそ、「集中力の密度」が高いと思います。一見、時間の多くある学生などと比べれば不利かと思えますが、時間が制約された集中力は、逆に考えれば、社会人の非常に有利な点といえると思います。



短期合格を実現する オリジナルテキスト

行政書士資格に

東京法経学院の各テキストは、長年の受験指導で培ったノウハウと刻々と変化する試験の傾向を徹底分析しています。情報量のムダを省いた合理的な内容により、短期間で合格を目指すことができます。



1 行政書士 コンプリート

行政書士試験で求められている知識を詳細に記述した基本テキストです。本書をじっくり読み試験科目の全体を把握するとともに重要事項の知識修得を図ります。

(A5判)

2 過去問マスターDX

過去に出題された本試験問題を法律別・項目別に収録。出題傾向を知る事によりポイントを押さえた学習が可能になります。

(A5判)

3 新・記述式対策合格 テキスト

新・記述式では40字程度の文章問題が出題されますので曖昧な知識では許されません。本書は行政書士試験での記述式問題を正確かつ確実に解答できるようにするための指導教材です。

(A5判)

4 通信 DVD/iPod

自宅にいながら通学と同じレベルの学習が行えるオリジナルメディアを提供いたします。映像と音声を通して学習していただくことにより通信教育のハンディはありません(最短合格講座/DVD/iPod(音声のみ)付タイプのみ)。

5 行政書士必勝六法

重要条文が一目でわかる!合格に必要な重要条文を収録した行政書士受験生専用六法。個人情報保護法・行政機関個人情報保護法・新商法(抄)会社法(抄)を収録。

(A5判)

行政書士業務を開業するまでの流れ

受験勉強開始

受験申込み

本試験

11月第2週日曜日

日本行政書士会連合会
に登録

本試験合格発表

翌年1月下旬

他資格試験受験など

行政書士
として
開業。



東京法経学院のご紹介

通学講座

無料体験入学制度

難関な試験に合格し、資格を取得するためには、長い期間学習意欲を維持しなければいけません。そのためには、自分にあった講座を受講する事が重要です。東京法経学院では、講座の受講を検討されている方に、授業の無料体験入学を実施しております。ご希望の方は事前にご連絡を頂いたうえでご来校ください。

通学講座については開講日の聴講をお勧めします。

通信教育については、各校にて教材見本(テキスト等)をご覧頂くことができます。

欠席者フォロー制度

本学院の通学講座(初学者クラス)は、ビデオ収録を行っています。講義に出席できなかった場合には、後日、ビデオをご覧いただき学習を進めていただくことができます。

ビデオは、本学院のビデオ室でご覧いただけます。そのため、ビデオデッキの台数等の関係上、予約制となっております。

振替出席制度

本学院の通学講座は、複数のクラスを開講しておりますので、万が一お申込みのクラスに出席できないときは、手続きなしで別のクラスへの振替出席が可能です。

振替出席は、初学者講座(本科)の平日クラス・土・日クラスがある場合に限りです。

通信教育

資格取得を目指しているが、時間、場所等の都合で通学することができない方、自分のペースで学習したい方などに最適なのが通信教育です。本学院は資格試験研究を重ね、オリジナル教材を作成しています。また、受験生に合わせたきめ細やかな指導で、効果的な学習をしていただけます。

本試験に精通した講師によるフォロー態勢

東京法経学院の講座は、試験対策に精通した経験豊かな講師や、実務家が担当しています。このため、講義に対する、疑問・質問・相談にも的確にお答えします。

自習室

「自宅ではなかなか集中して学習を進めることができない」という方のために、講義以外の時間でも自習室を使用して学習していただけます。

曜日によっては空室がなく、自習室をご用意できない場合がございます。あらかじめ各校にご確認ください。

有力資格の最新情報の提供

本学院は、法律に関する出版物を発行する出版業を併せて行っております。そのため、有力資格取得を目指す方のため、受験情報をいち早くお伝えできるように、有力資格情報誌「月刊不動産法律セミナー」をはじめ多くの書籍を発行しております。もちろん受験生の一番気になる法改正情報もご提供しておりますので、安心して学習に取り組むことができます。また、多くの受験指導校がある中で、本学院では受験の必須書である「六法」を用途に応じて発行しております。

ホームページ
アドレス

<http://www.thg.co.jp/>

資格に関する情報から、本試験合格のための情報・出版案内・通信・通学の学校案内など受験生のための情報をいち早く公開しております。また、学習相談コーナーでは、皆様のお声をお待ちしております。

なお、E-mailでもご意見・お問い合わせ

わせ・ご相談の他直接宅配サービス等のお申込みも受け付けております。E-mailアドレスは下記のとおりです。

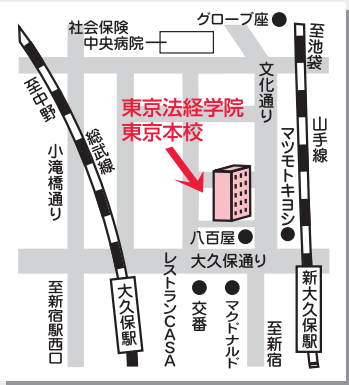


info@thg.co.jp

最寄りの各校へお気軽にお電話ください。

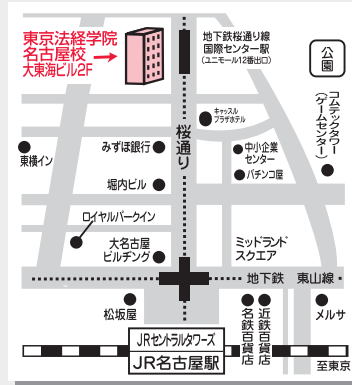
東京本校
通信教育

〒169-8505
東京都新宿区百人町2-9-13
TEL 03(3371)2741(代)
FAX 03(3360)1724
新大久保駅2分



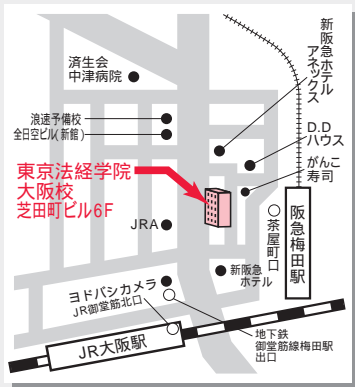
名古屋校

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル2F
TEL 052(583)1161(代)
FAX 052(583)9588
名古屋駅7分



大阪校

〒530-0012
大阪府北区芝田1-4-14 芝田町ビル6F
TEL 06(6373)1401(代)
FAX 06(6373)1405
梅田駅2分



福岡校

〒810-0003
福岡市中央区春吉3-21-21 春野ビル3F
TEL 092(751)5866(代)
FAX 092(771)6735
天神駅3分

